

第10回 英語スピーチコンテスト

第10回城西大学英語スピーチコンテストが、2021年11月20日(土)12:30より開催されました。新型コロナウイルス感染症をめぐる社会的状況を考慮し、Zoomを用いてのオンライン開催となりました。

本コンテストには52名からの応募がありましたが、当日は予選を通過した22名が登壇し、日頃の英語学習の成果を発表してくれました。発表内容も、自分の「夢」や「クラス」などの身近な話題から、「美」や「共生」などの社会的な話題まで実に幅広いものでした。また発表方法に工夫が凝らされていて、当日に向けて一人ひとりが真剣に練習に取り組まれていたことを窺い知ることができました。

厳正な審査の結果、高校の部では城西大学附属川越高等学校の高橋宙大さんが、大学の部では東洋英和女学院大学の柳明里さんが最優秀賞に選ばれました。高橋さんは終戦の日の家族のエピソードをもとに平和を語り、柳さんは若年層の自殺に焦点をあてながら辛さを抱えている人に寄り添う生き方を語ってくれました。お二人のスピーチは、技術だけではなく、聴衆に訴えかける力強さが特に優れていました。

オンラインによる開催となりましたが、運営を通じて感じたのは、オンラインで行うスピーチには、対面で行うスピーチとは異なる技術が必要になるのではないかということです。そしてそれは、アフター・コロナ、ウィズ・コロナと呼ばれる時代の新しい技術として、しっかりと向き合わなければならないことではないかということです。今回登壇した22名のスピーチは、語学教育に携わる者にとって大きな学びの場になったと思います。

発表終了後には、オンライン交流会を行い、当日までの苦労を互いに労ったほか、普段の英語学習方法についてなど様々に意見交換を行いました。多くの登壇者が、勉強するというよりは楽しみながら英語に接している様子を知ることができ、とても印象的でした。

表彰式に先立ち、埼玉県立不動岡高等学校への感謝状贈呈式を行いました。不動岡高等学校は第1回のコンテストより連続して本選出場を果たされました。手探りの状態で始めた本コンテストの意義をご理解いただき、生徒さんを連続して派遣していただいたことは、運営を行う私たちにとって、コンテストを続ける励みになりました。このことに感謝して、第10回を記念して感謝状を贈呈させていただきました。

本コンテストを開催するにあたり、埼玉県、埼玉県教育委員会をはじめとする多くの方々にご後援いただきました。また多くの大学関係者にもご協力いただきました。開催にあたりご協力くださいましたすべてのみなさまと、ご応募いただいたみなさま、そして応募者のご指導にあたってくださったみなさま、当日ご視聴くださったみなさまに心より感謝申し上げます。



終了後の参加者と運営側の集合写真

第10回 城西大学英語スピーチコンテスト 結果

部門	登壇	氏名	学校名	受賞名
高校の部	1	上田 遥香 さん	埼玉平成高等学校	審査員特別賞
	2	内藤 千里 さん	秋草学園高等学校	テレ玉賞
	3	白石 心菜 さん	埼玉県立越ヶ谷高等学校	坂戸市長賞
	4	岸 みらい さん	埼玉県立春日部女子高等学校	城西大学同窓会賞
	5	高橋 宙大 さん	城西大学付属川越高等学校	最優秀賞 城西大学学長賞（高校の部）
	6	竹内 恵麻 さん	同志社国際高等学校	埼玉県教育委員会教育長賞
	7	中 優喜乃 さん	洛南高等学校	埼玉新聞社賞
	8	加藤 結香 さん	埼玉県立大宮光陵高等学校	西入間青年会議所賞
	9	佐藤 可奈子 さん	埼玉県立坂戸高等学校	鶴ヶ島市教育委員会教育長賞
	10	寺屋 克洋 さん	東京農業大学第三高等学校	坂戸市教育委員会教育長賞
	11	柳 陽向 さん	埼玉県立不動岡高等学校	城西大学父母後援会賞
	12	宮元 乃愛 さん	淑徳高等学校	坂戸市商工会賞
	13	山野 絵梨香 さん	松徳学院高等学校	毎日新聞社賞
	14	小島 千 さん	さいたま市立浦和高等学校	鶴ヶ島市長賞
	15	Alexandra-Diana Serban さん	東京都立国際高等学校	語学教育センター所長賞
	16	孝山 愛夢 さん	関西学院高等部	語学教育センター所長賞
大学の部	1	尹 紹恒 さん	大正大学	審査員特別賞
	2	青木 恵里華 さん	城西大学	審査員特別賞
	3	YU YIQIAN さん	共栄大学	城西大学父母後援会賞
	4	下澤 萌加 さん	獨協大学	城西大学同窓会賞
	5	小峯 愛音 さん	神田外語大学	埼玉県知事賞
	6	柳 明里 さん	東洋英和女学院大学	最優秀賞 城西大学学長賞（大学の部）